

茨城県土地改良工事共通仕様書の主な改正内容について

1 工事関係書類の簡素化による見直し

(1) 連絡の定義の追加

監督員と受注者間の連絡として、口頭、FAX、電子メールなどの署名、押印が不要な手段の定義を追加した。(1-1-2.26用語の定義)

2 各種基準類との整合

(1) コンクリート標準示方書 2012 改正内容との整合

①定義の見直しや一般的に使用されている用語への見直し

示方配合 → 計画配合 (3-7-3.2 配合)

塩化物イオン量 → 塩化物量 (3-7-7.2 塩化物含有量の限度)

型枠の締付け材 → 型枠の締付け金物 (3-8-2.3 型枠)

②養生方法の表記の見直し

湿度 → 湿潤状態 (3-7-11.1 養生)

【改正理由】

その数値そのものより、養生の基本である状態を表記する方が重要であるため

湿潤状態を保つ → 湿潤養生を行う (3-7-11.2 養生)

【改正理由】

湿潤養生の必要性を示すため

③打継目処理方法の表記の見直し

十分吸水させ → コンクリートの表面を粗にした後、十分に吸水させ
(3-7-12.2 継目)

【改正理由】

十分な付着を確認するため(施工者によりコンクリート状態に対する認識が異なる)

④鉄筋組立方法の表記の見直し

・・・ → 使用した焼きなまし鉄線またはクリップはかぶり内に残してはならない (3-9-2.2 鉄筋の組立)

【改正理由】

鉄筋の腐食を誘発する恐れがあるため

(2) グースアスファルト舗装工における各材料規格・表記方法の見直し

①接着剤規格について鋼床版用を追加

表 1 2 - 5 - 1 (1) 接着剤の規格 (鋼床版用)

項目	規格値	試験方法
	ゴムアスファルト系	
不揮発分 (%)	50 以上	JIS K 6833-1, 2
粘度 (25°C) [Poise(Pa·s)]	5(0.5)以下	JIS K 6833-1, 2
指触乾燥時間 (分)	90 以下	JIS K 5600
低温風曲げ試験 (-10°C、3cm)	合格	JIS K 5600
基盤目試験 (点)	10	JIS K 5600
耐湿試験後の基盤目試験 (点)	8 以上	JIS K 5664
塩水暴露試験後の基盤目試験 (点)	8 以上	JIS K 5664

(注) 基盤目試験の判定点は (財) 日本塗料検査協会「塗 膜の評価基準」の標準判定写真による。

②骨材の標準粒度, グースアスファルトの基準値を舗装施工便覧と整合

表 8 - 5 - 4 グースアスファルトの基準値

項目	基準値	
	現行	改正後
流動性試験, リュエル流動性(240°C) sec	20 以下	3~20
貫入量試験, 貫入量(40°C, 52.5kg/5 cm ² , 30 分)mm	1 ~ 4 【新設】	表層 1~4 基層 1~6

3 共通仕様書の利便性の向上

(1) 工事関係書類の提出先を統一

①工事請負契約書に規定されている提出物

監督員に提出 → 監督員を経由して発注者に提出 (1-1-4 工程表)

※他に 1-1-20 支給材料及び貸与資料, 1-1-28 工事完成検査, 1-1-49 保険の付保及び事故の補償も同じく改正

②共通仕様書に規定されている提出物

事務 (事業) 所長等に提出 → 監督員に提出 (1-1-6 低入札価格調査対象工事の措置)

※1-1-25 監督員による検査及び立会等, 1-1-43 施工時期及び施工時間の変更, 1-1-46 工事特性等への対応状況の報告に合わせて統一